

# かわさきチャレンジ・3R（一般廃棄物処理基本計画）推進中！！

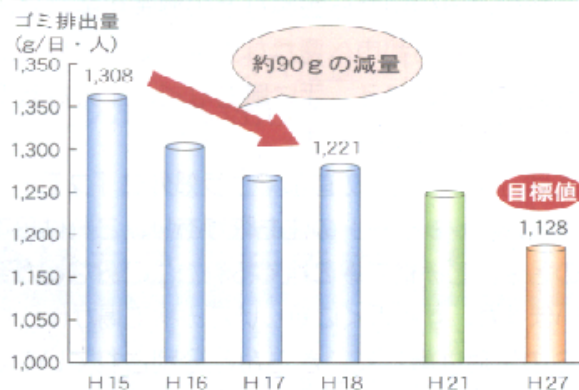
平成17年4月に策定した廃棄物処理の中・長期的な基本計画「かわさきチャレンジ・3R」では、市民・事業者・行政が一丸となって3Rを基本としたごみの減量・リサイクルを推進していくため、

## ①ごみの発生抑制の推進 ②リサイクルの推進 ③焼却量の削減

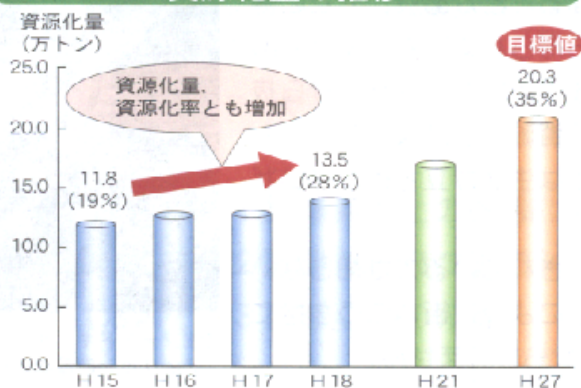
の実現に向け、ごみ排出量、資源化量・資源化率、ごみ焼却量について、平成15年度の実績数値を基準に、平成27年度までに達成すべき数値目標を設定しています。

平成18年度には、資源化量・資源化率は引き続き増加の傾向を示し、平成15年度と比較して1万7千トンの増加となりました。また市民1人1日当たりのごみ排出量が1,221グラムとなり、15年度に比べ約90グラムの減量を実現し、ごみ焼却量は463,131トンと15年度実績よりも約4万トンの削減となりました。しかしながら、市民1人1日当たりごみ排出量・ごみ焼却量とも平成17年度実績と比べると若干増加していること、また資源化量の増加傾向が緩やかであることから、今以上の減量化・リサイクルへの取組が必要となっています。

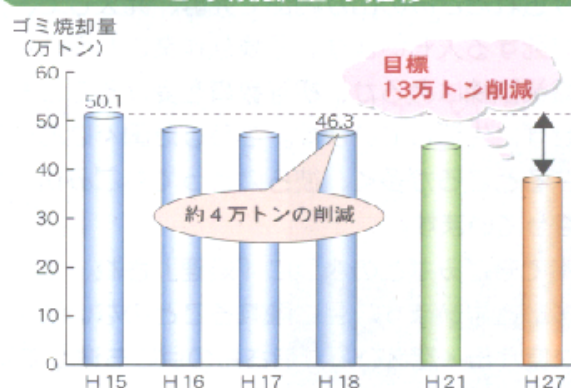
### 一人一日あたりごみ排出量の推移



### 資源化量の推移



### ごみ焼却量の推移



「地球環境にやさしい持続可能な循環型のまち」を目指し、これからも川崎市は各目標の達成に向けて取り組んでまいりますので、市民・事業者の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

## ペットボトルの正しい出し方について（お願い）

市では、資源物としてペットボトルを週1回収集していますが、多くのペットボトルがキャップやラベルが付いたままの状態です。

ペットボトルの「本体」と「キャップ・ラベル」は、プラスチックの種類が異なるため、リサイクルの妨げとなっています。ペットボトルの出し方を守るだけで、環境負荷を軽減し、貴重な資源の節約に貢献することができます。

ちょっとした心配りがごみの減量・リサイクル、ひいては地球環境の保全につながっていきます。皆さんも今日から正しいペットボトルの出し方を心がけてください。

### <ペットボトルの出し方>

